

2023 年度 科研費応募状況と民間助成金

- 芦塚あおい（代表）、武田雅俊、大籠友博：高齢者における呼吸リハビリテーションがもたらす呼吸と嚥下の協調性変化の解明．科学研究費 基盤研究（C）、2023 年度．
- 今岡真和、今井亮太（共同代表）：老年症候群予防プロジェクト（代表）．スポーツ庁（貝塚市委託事業）、2023-2024．
- 今岡真和（指導教員）：フレイル予防プロジェクト（指導教員）．貝塚市市制 80 周年記念協賛事業、2023．
- 今岡真和（代表）：就業高齢者を包含した ICT 活用によるプレフレイル改善プログラムの開発．科学研究費 若手研究、2023-2024．
- 今岡真和（代表）：就労高齢者を包含した地域在住高齢者に対する運動とタンパク質摂取によるフレイル改善効果の検証：ランダム化比較試験．不二製油グループ本社株式会社・不二製油株式会社共同研究、2023-2025．
- 宇都宮洋才、河野良平：梅及び梅抽出物に含有される抗ウイルス物質の探索と同定．受託研究費（みなべ町長）、2023.7.7-2024.3.15．
- 宇都宮洋才、河野良平：梅摂取による食事能力への効果．受託研究費（みなべ梅対策協議会）、2023.7.7-2024.3.15．
- 宇都宮洋才、河野良平：八升豆、八升豆抽出物、又は八升豆由来成分を有効成分とするパーキンソン病治療薬の研究開発．株式会社 紀州ほそ川 共同研究費、2023.8.1-2024.7.31．
- 宇都宮洋才、河野良平：梅、梅抽出物、又は、梅由来成分を有効成分とするヒト不妊症治療剤の研究開発．株式会社 紀州ほそ川 共同研究費、2023.8.1-2024.7.31．
- 宇都宮洋才、河野良平：機能的医薬食品探索講座．寄附講座（代表：株式会社 トノハタ 他 4 社）、2022.8-2025.7．
- 大籠友博（代表）、白岩圭悟：没頭状態からの脱却を支える神経基盤の解明から、高齢者のリスク回避能力の向上を目指す．大阪ガスグループ福祉財団「調査・研究助成」、2023 年度．
- 大籠友博（代表）：感覚情報の変化に適応して運動を調節する神経回路基盤と非侵襲脳刺激を用いたその統御．科学研究費 基盤研究（C）、2023 年度．
- 大嶋伸雄（代表）、鈴木孝治：高次脳機能障害者に対する認知行動療法を用いた行動変容アプローチの開発．科学研究費 基盤研究（C）、2023-2025．
- 上島健（代表）、武田雅俊：COVID-19 下の社会的隔離は高齢者の認知予備力の程度で異なる影響を受けるのか．科学研究費 基盤研究（C）、2021-2023 年度．
- 岸村厚志（分担）、飛田伊都子（代表）、伊藤正人、椿原美治、猪阪善隆、山本佳代子、廣瀬稔、戸田満秋、山下哲平、多久和善子：IoT 機器を活用した在宅腎臓リハビリテーションの遠隔支援システムの構築．科学研究費 基盤研究（B）、2021-2024 年度．
- 久保峰鳴（代表）：変形性膝関節症における筋骨格モデル解析と AI 技術を活用した治療アルゴリズムの開発．科学研究費 研究活動スタート支援、2022-2023 年度．
- 河野良平（代表）、奥野祥治：ウメのアレルギー疾患および性差に対する影響を明らかにする．科学研究費 基盤研究（C）、2021-2023．
- 佐伯純弥（代表）：発育に伴う筋伸張と思春期における運動のぎこちなさの関連の解明．科学研究費 研究活動スタート支援、2021-2023 年度．
- 佐伯純弥（代表）：腱組織に対する効果的なトレーニング手法の開発．科学研究費 若手研究、2022-2025 年度．
- 佐伯純弥（代表）：女性における膝関節構成体の加齢変化開始時期の解明．大阪ガスグループ福祉財団 調査・研究助成、2022-2023 年度．
- 堺景子（代表）、樽谷精一郎、武田雅俊：Long COVID 関連症状の病態機序および発症に影響を与える要因の解明．公益財団法人先進医薬研究振興財団精神薬療分野 COVID-19 関連一般研究助成、2022.12.1-2023.11.30．
- 白岩圭悟（分担）、大類淳矢（代表）、石井良平、内藤泰男：精神科作業療法の集団の効果について脳波を用いて明らかにする研究．科学研究費 基盤研究（C）、2023-2025．
- 白岩圭悟（代表）：「植物を用いたリハビリテーションの生理学的特性の解明」継続．大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費、2022-2023 年度．
- 坪田裕司（分担）、石井明（代表）、名古屋大学農学部 研究推進員：ニワトリ新規ゲノム育種マーカーの開発事業．公益財団法人全国競馬・畜産振興会畜産振興事業、2022-2024 年度．
- 中村美砂（代表）、大籠友博、河野良平：新規エクサカインに着目した認知症予防のための運動の有効性の性差の解明．科学研究費 基盤研究（C）、2021-2023．
- 中村美砂（代表）、村上達典：つげさんフレイル・ロコモ・認知症予防プロジェクト～横断研究～．大阪河崎リハビリテーション大学 共同研究費、2023 年度．
- 肥田光正（代表）、今岡真和、今井亮太、和田親宗、中尾英俊、中村美砂：医工連携による地域で利用しやすい姿勢および関節アライメント測定プログラムの開発．科学研究費 基盤研究（C）、2022-2025．
- 峰久京子（代表）、中村美砂、野村和樹、岡健司、今岡真和、松尾加代：小中学生の運動器の構造・機能的評価と効果的な運動介入の検討．科学研究費 基盤研究（C）、2023-2025．

2024 年度 科研費応募課題

No.	研究種目	応募者名	研究課題名
1	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	武田 雅俊	高い認知予備力を有する早期認知症患者において抗体治療薬の病態修飾作用を検証する
2	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	中裕 俊介	補聴器使用による施設入居高齢者に対する認知症予防とその機序の解明
3	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	堺 景子	断酒による抗酸化能の変化が高齢アルコール依存症者の健康寿命におよぼす影響
4	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	武井 麻喜	自助グループのアルコール依存症者の自律性に関する検討；断酒生活を継続するために
5	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	高橋 泰子	言語聴覚士に求められる臨床能力技能の修得
6	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	畑中 良太	発達性協調運動症児と親の心理社会的問題の軽減を目的とした運動技能トレーニング
7	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	久利 彩子	姿勢変換における足圧中心移動と足部挙上開始時点に着目した新たな転倒評価の開発
8	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	中裕 貴子	チューブ類の自己抜去防止と手指機能低下予防を備えた装具の開発
9	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	田崎 史江	園芸療法によるリハビリテーション効果の脳科学的メカニズムの解明
10	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	岸村 厚志	応用行動分析学を用いたスライディングボードの移乗介助技術短期習得プログラムの開発
11	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	中村 美砂	地域高齢者の姿勢・運動機能に着目した口腔機能低下関連因子の解明と予防法の確立
12	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	河野 良平	細胞内 α シヌクレインアミロイド凝集モデルを用いた食品の神経変性疾患予防効果研究
13	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	岡 健司	非日常的ロコモーションの運動解析
14	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	松尾 加代	健常高齢者のメタ認知：記憶と記憶以外の観点からの検討
15	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	上島 健	陶芸活動による生活機能向上の要因を解明する研究
16	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	竹内 直子	足圧分布 (COP) データへの連検定適用による両脚立位と片脚立位の判別手法の開発
17	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	上田有紀人	急性期脳血管障害患者における注意障害の質的分析
18	2024 年度 基盤研究 (C) (一般)	中越 雄也	客観的な成果指標による作業療法介入プロセスモデルの効果検証
19	2024 年度 若手研究	久保 峰鳴	マーカーレス歩行解析による新たな膝関節への機械的負荷指標の開発
20	2024 年度 若手研究	今井 亮太	慢性足関節症の発症リスクが判定可能なシステム開発
21	2024 年度 若手研究	嶋野 広一	高齢者の自動車運転と下肢深部感覚との関連性を解明する
22	2024 年度 若手研究	白岩 圭悟	作業活動を用いた脳波ニューロフィードバック訓練法の開発

これまでの科研費の応募数，採択数，研究課題数の状況

	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
応募数	6	7	5	6	6	3	6	9	13	14	18	24	22
採択数	1	0	0	0	0	1	1	3	3	2	2	4	5
科研費課題数	1	1	1	0	0	1	3	6	10	11	9	12	

